

オホーツクの風

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会

事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

令和5年11月29日(水) 0029号

医師事務作業補助者

医師の事務処理を軽減・働き方改革に貢献

今年6月、北見赤十字病院・循環器内科外来でペースメーカーの電池交換の診療を受けた。担当の医師や看護師と同席するパーミントグリーン色の制服の女性職員の方が医師の診察と連動してプリントアウトなどの事務作業や当方への声かけなどを行っていた。この方が今回取材する医師事務作業補助者で、同院ではメディカルクラーク（略してMC）と呼ばれている。



定例会議 メンバーが議論を展開

今年6月、北見赤十字病院・循環器内科外来でペースメーカーの電池交換の診療を受けた。担当の医師や看護師と同席するパーミントグリーン色の制服の女性職員の方が医師の診察と連動してプリントアウトなどの事務作業や当方への声かけなどを行っていた。この方が今回取材する医師事務作業補助者で、同院ではメディカルクラーク（略してMC）と呼ばれている。

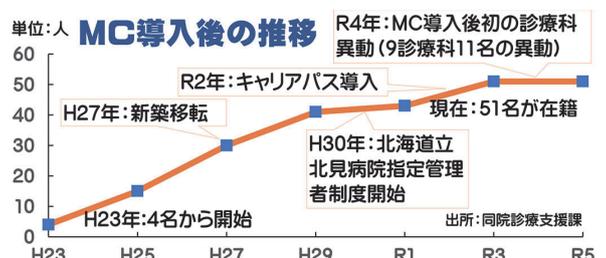
現在、同課の総勢は52名にまで発展している。課長、3名の係長など管理部門が12名、内科・整形外科・循環器内科・消化器内科の他16の外来診療と道立北見病院各科の現場に40名のMCが配属されている。同課の定例会議は



MC研修会 研鑽や協議などでMC全員が集う

主事やリーダーが参加し、毎月2回開催される、各科の課題・医師の負担軽減について検討され、月に1回開催されるMC研修会で全員に周知される。MC導入後の同課の推移を第2診療支援係長が作成した図表で振り返ると、▽

平成27年、新病院移転新築 ▽令和2年、キャリアパスの導入 ▽令和4年、MC導入後は初の診療科異動（9科11名）など確実に歴史を積み重ねている。同課には3名の係長がいて、〇タスクシフティング（医師の事務処理を回避する取り組みで、医師以外でも行う事が可能な業務をMCに移管すること）の調査や実施〇主任・リーダーの指導や伝達その他多くの業務を行っている。



また同課には業務マニュアルが整備されていて内科のMC業務マニュアルを閲覧させて戴いた。始めに外来担当の医師の一週間単位の勤務表があり、診療支援・診察予約・検査予約や説明・入院説明・スキャン・カルテチェックその外の項目ごとに詳細に親切に記述されている。作成は平成29年で現在まで9回もの改訂が行われている。この内科のマニュアルは25ページの冊子になっている。これと同じようなマニュアルが16の外来診療科ごとに作成されていてその総ページ数500ページにも及ぶ。

同院の外来診療部門では、各科の医師の専門的指導や暖かい協力と気配りのある優しいMCのコミュニケーションで効率的で素晴らしいチーム医療の大輪の花を咲かせている。

北見赤十字病院 ブラックジャックセミナー 2023

令和5年11月5日(日)、北見赤十字病院・多目的ホール「ミント」で「ブラックジャックセミナー2023」を開催。

本セミナーは3社の共催で、会場や医療の指導を北見赤十字病院(以下病院)が担当し、システムや教材・グッズなどをジョンソン&ジョンソンメディカルカンパニー(以下j&j)が担当し、私達・北見赤十字病院の明日を考え支援する会(以下支援する会)は参加中学生の募集申し込みの窓口を担当する。

10月20日、応募締め切り、その時のセミナー申し込み数は募集定員(25名)を大幅に上回る44名に達した。子供達の夢や希望をかなえるのが使命と全員参加で実施することに3社で決定し、その準備に着手し、今日、開催を迎えた。午後0時30分、

当初予定より30分繰り上げて開場、参加生徒が続々と来る。受付が終わり順次、開催スタッフが手伝い術衣を装着して席に着きます。全

6つのグループが6つの体験ブースを巡回

■体験ローテーション表							
巡回順	時間	(1) ブース	(2) ブース	(3) ブース	(4) ブース	(5) ブース	(6) ブース
		鏡視下手術体験	超音波メス体験	糸結び縫合体験	脊椎固定手術体験	心房細動治療体験	脳血管治療血栓回収
初回	13:40 ~14:05	A ●	F ●	E ●	D ●	C ●	B ●
2	14:05 ~14:30	B ●	A ●	F ●	E ●	D ●	C ●
3	14:30 ~14:55	C ●	B ●	A ●	F ●	E ●	D ●
	14:55 ~15:15	休憩 (20分)					
4	15:15 ~15:40	D ●	C ●	B ●	A ●	F ●	E ●
5	15:40 ~16:05	E ●	D ●	C ●	B ●	A ●	F ●
6	16:05 ~16:30	F ●	E ●	D ●	C ●	B ●	A ●

見学が終わると、参加生徒はキャップとグローブを装着し、名札に表示されたイエロー・A、オレンジ・B、レッド・C、パープル・D、グリーン・E、ブルー・Fの6つのグループになり、(1)から(6)の6つのそれぞれの体験ブースに集まり、セミナーが始まる。

体験メニュー

■(1) 鏡視下手術体験
担当の医師の指導でモニターを見ながら輪ゴムや小物移動操作を行う。

■(2) 超音波メス体験
人体人形の胸に鶏肉の部分置き、電子メスを使って切開や切離を医師の指導

で体験する。
■(3) 糸結び・縫合体験
教材の皮膚パットにメスで切り傷を作り、紐を使って糸結びを医師の指導の下

(3面につづく)



6つのグループが初回の6つの体験ブースにそれぞれ集まり、体験セミナーの開始

に体験する。

■ 4) 脊椎固定手術体験
ボーンモデルにスクリューを入れて固定する整形外科の手術、整形外科の担当医師が指導してその実際を体験する。

■ 5) 心房細動治療体験
実臨床で使用しているカルト3と言う3Dマッピングシステムを使用し、参加者に診断用カテーテルを触ってもらいながらアブレーション治療のハンズオンを指導医の下に体験する。

■ 6) 脳血管内治療(血栓回収)体験
脳血管内治療は主に脳卒中の患者さんです。脳卒中は大きく分けると「詰まる」と「破れる」です。今回は「詰まった」時の治療で脳血管を元の状態に戻すため、詰まった原因(血栓)を取り除く処置です。細かいカテーテル(4面につづく)



■ 1) 鏡視下手術体験 その2



■ 1) 鏡視下手術体験 その1



■ 2) 超音波メス体験 その2



■ 2) 超音波メス体験 その1



■ 3) 糸結び・縫合体験 その2



■ 3) 糸結び・縫合体験 その1

オホーツクの風

令和5年11月29日(水) 0029号

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会

事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16
Tel 0157-61-0684

医師事務作業補助者

医師の事務処理を軽減・働き方改革に貢献

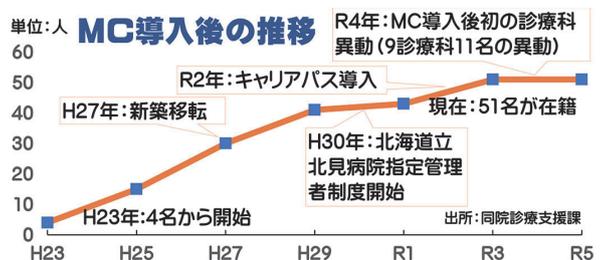
今年6月、北見赤十字病院・循環器内科外来でペースメーカーの電池交換の診療を受けた。担当の医師や看護師と同居するペーパーミントグリーン色の制服の女性職員の方が医師の診察と連動してプリントアウトなどの事務作業や当方への声かけなどを行っていた。この方が今回取材する医師事務作業補助者で、同院ではメディカルクラーク（略してMC）と呼ばれている。

各科外来に配置された。リーダーの方が当時は振り返り、「最初は4名ほどのスタッフで小児科・耳鼻科・皮膚科・循環器内科の外来診療部門から始まった。解らないことばかりで、配属された科の勉強をしながら、業務の確立を目指す毎日でした。

現在、同課の総勢は52名にまで発展している。課長、3名の係長など管理部門が12名、内科・整形外科・循環器内科・消化器内科の他16の外来診療と道立北見病院各科の現場に40名のMCが配属されている。同課の定例会議は

主事やリーダーが参加し、毎月2回開催され、各科の課題・医師の負担軽減について検討され、月に1回開催されるMC研修会で全員に周知される。

MC導入後の同課の推移を第2診療支援係長が作成した図表で振り返ると、▽



医師事務作業補助者の誕生は、勤務医の負担軽減を目的に平成20年度の診療報酬の改定でこの項目が新設され、これを受けて北見赤十字病院では平成23年に診療支援課の先駆けとなるスタッフが

医師の親切な指導を戴きながら今日に至る」と語った。



定例会議 メンバーが議論を展開



MC研修会 研鑽や協議などでMC全員が集う

また同課には業務マニュアルが整備されていて内科のMC業務マニュアルを閲覧させて戴いた。始めに外来担当の医師の一週間単位の勤務表があり、診療支援・診察予約・検査予約や説明・入院説明・スキャン・カルテチェックその外の項目ごとに詳細に親切に記述されている。作成は平成29年で現在まで9回もの改訂が行われている。この内科のマニュアルは25ページの冊子になっている。これと同じようなマニュアルが16の外来診療科ごとに作成されていてその総ページ数500ページにも及ぶ。

同院の外来診療部門では、各科の医師の専門的指導や暖かい協力と気配りのある優しいMCのコミュニケーションで効率的で素晴らしいチーム医療の大輪の花を咲かせている。

また同課には業務マニュアルが整備されていて内科のMC業務マニュアルを閲覧させて戴いた。始めに外来担当の医師の一週間単位の勤務表があり、診療支援・診察予約・検査予約や説明・入院説明・スキャン・カルテチェックその外の項目ごとに詳細に親切に記述されている。作成は平成29年で現在まで9回もの改訂が行われている。この内科のマニュアルは25ページの冊子になっている。これと同じようなマニュアルが16の外来診療科ごとに作成されていてその総ページ数500ページにも及ぶ。

同院の外来診療部門では、各科の医師の専門的指導や暖かい協力と気配りのある優しいMCのコミュニケーションで効率的で素晴らしいチーム医療の大輪の花を咲かせている。